

## 検診、健診のすすめ

清家消化器内科クリニック（恵美須町） 清家 裕貴



開業して5年目を迎えました。勤務医時代にはあまり感じなかったのですが、開業してみても入院経験のない元気な80・90歳の患者さんを数多く診察するようになり、当たり前のように言われている人生100年といったフレーズを改めて実感しています。テレビや週刊誌、インターネット、職場、飲食店など、時間や場所を問わず、健康や病気についての話題の氾濫は健康への関心の表れなのでしょう。

先日、肝臓専門医の講演を傾聴した際、肝臓がんの治療法や考え方が大きく様変わりしていることに驚きました。自分の専門領域の分野においても、改めて知識のアップデートの必要性を実感するとともに専門医とかけつけ医の立ち位置の違いも感じました。

現在、日本人の死亡原因のトップはがんであり、約1分半に1人ががんで命を落としている計算になるそうです。医療の技術、薬剤の進歩によつてがんは治せる病気であるといった認識に向かいつつありますが、そのカギを握っているのはやはり早期発見、早期治療であります。そのためにも検診（胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん）を定期的に受けておくことをお勧めします（ただし、健康を診断する健診とは別物です）。

検診で見つかったがんと、自覚症状があつて見つかったがんの5年生存率（診断を受けて5年後の生存確率）の間には20〜30%の違いが言われています。

その一方で、がん検診の受診率はせいぜい40%程度です。「時間が取れない」「費用

### わかば女性川柳会

### 木賊句会

### かわせみ句会

### 二名短歌会

## 余暇のひととき

電柱にえさを窺う鳥おり「シヨイ」と手振れば「アホー」と飛びぬ 金谷 幸夫  
木洩れ陽の金糸のごとき光を射し朝の静寂に 善家キクエ  
神々しかり  
ほのぼのと乙女思はず合歡の花紅刷けのごとし見つめて飽かず 善家 聖子  
雨蛙じつと動かぬ雨待ちか水かけやれば空仰ぎみる 安波 五月  
同じこと電話して来し友のあり氣遣ひつつも同じ返事す 高山 幸子  
深夜便炭坑節の澄みし声 岡本 昌美  
水底の石に射したる秋陽かな 河野 宜子  
鈴虫の軸の掛かりし茶室かな 中村 里子  
庭の木に蓑虫ゆるる夕べかな 前川つつみ  
「英雄」の曲に献花の菊の花 薬師神和美  
秋過路雨の峠を下りて来し 平岡千代子  
姐さんの小粋な三味や夏祭り 櫻井 健  
牛鬼や前向き歩く秋まつり 松 秋声  
孟蘭盆会弟妹四人となりけり 金田八重子  
虫時雨城の石垣算木組 松影 美鈴  
一文字の軸は師の筆夏座敷 三浦 尚子  
秋天へ命のかぎり千手杉 西川 洋子  
梅雨明けて竿賑やかにシャツ踊る 男武志津江  
せつがちが皆んなの不評背に受けて 酒井 真弓  
直ぐに飛ぶ諭吉あなたもせつがちね 古本 鈴代  
エアコンの音しかしないワンルーム 河野 志真  
気づかない頭のねじが甘いとか 大西 直子